

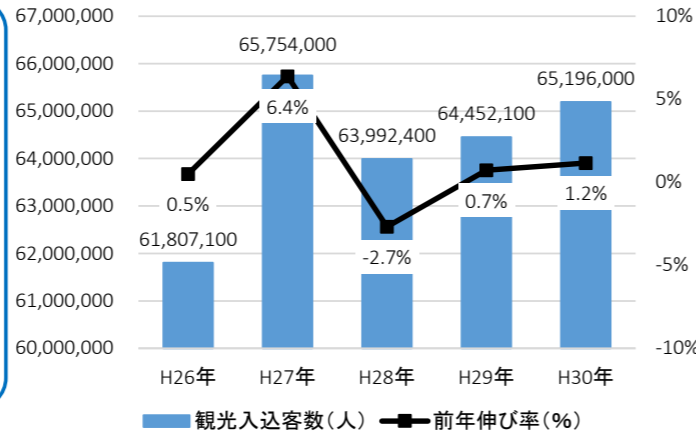
平成30年(2018年) 観光入込客統計調査報告書 概要

結果概要

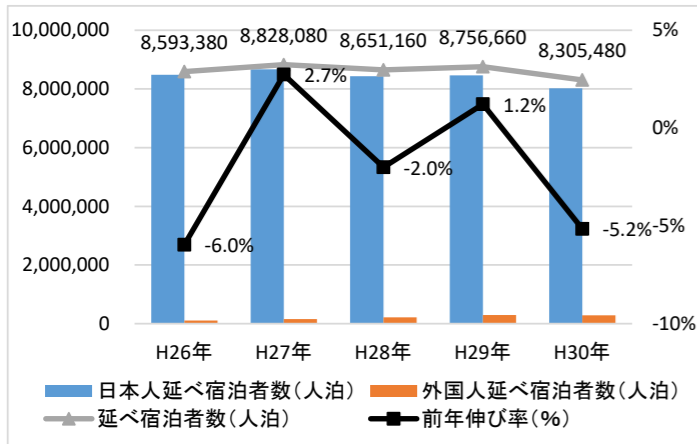
■まとめ

- **観光入込客数**
65,196千人であり、前年比+1.2%
- **宿泊客数**
延べ宿泊者数は、8,305千人泊であり、前年比▲5.2%、
外国人延べ宿泊者数は、289千人泊であり、前年比▲0.7%
- **観光消費額単価**
宿泊22,329円であり、前年比▲19.3%、
日帰りは4,519円であり、前年比 ▲17.2%
- **観光消費額**
295,919百万円であり、前年比▲17.5%

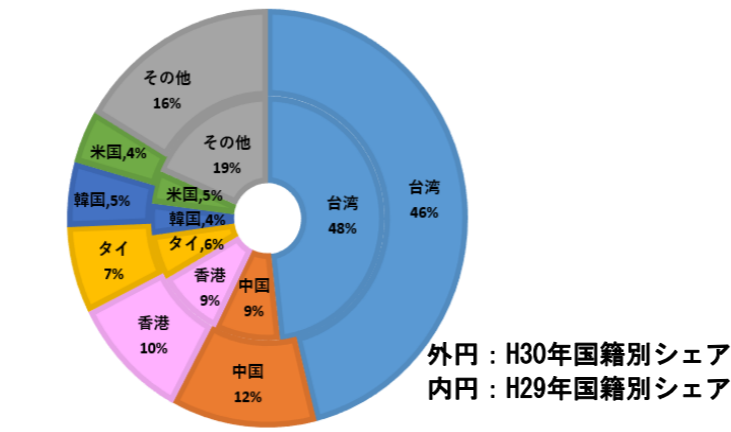
■観光入込客数



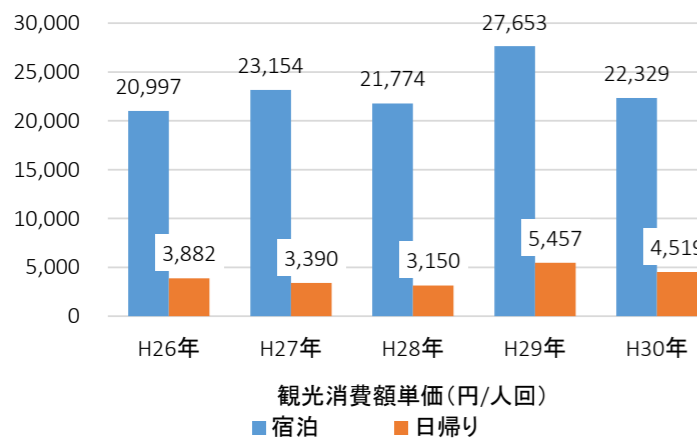
■宿泊者数



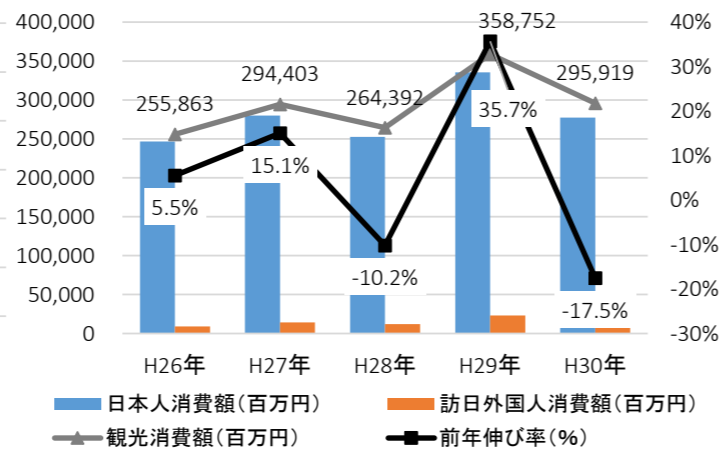
■外国人延べ宿泊者数国籍別シェア(従業員数10名以上の施設)



■観光消費額単価



■観光消費額

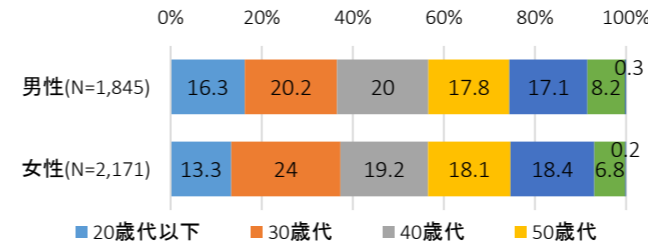


調査方法

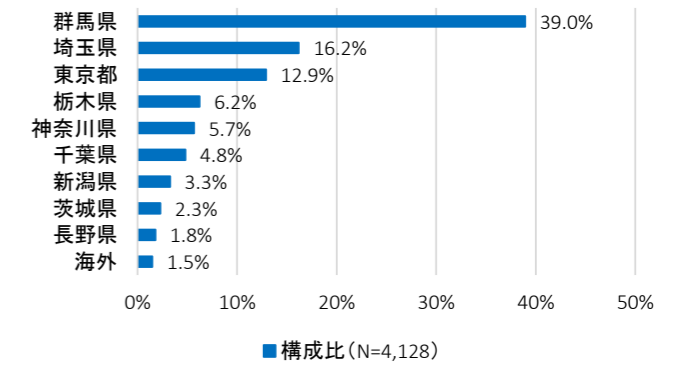
- **観光入込客数** 群馬県「観光客数・消費額調査」
・年間1万人以上、もしくは特定月が1,500人以上の全観光地点(観光行事)について、県内35市町村へ照会を行い集計
- **宿泊者数** 観光庁「宿泊旅行統計調査」
・観光に限らず、宿泊施設すべて観光庁⇄民間等請負業者⇄郵送(又はオンライン)⇄各報告者のとおり調査を行い推計
- **観光消費額** 観光庁「共通基準による観光入込客統計」
・年間1万人以上、もしくは特定月が5,000人以上の観光地点について、「観光地点パラメータ調査(アンケート調査)」※
及び宿泊旅行統計調査等の結果から推計
(参考)※群馬県「観光地点パラメータ調査」
・調査員による聞き取り調査を・四半期ごとに県内11カ所で行った

(参考)群馬県「観光地点パラメータ調査」結果

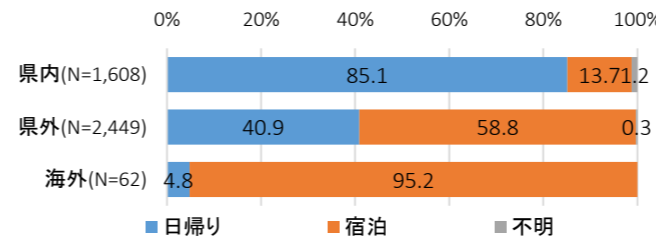
■観光客の属性-性年代-



■観光客の属性-居住地(上位10位)-

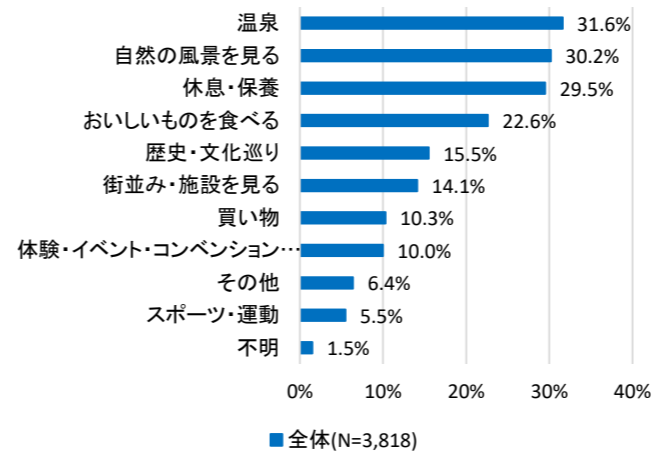


■観光客の属性-宿泊の有無-



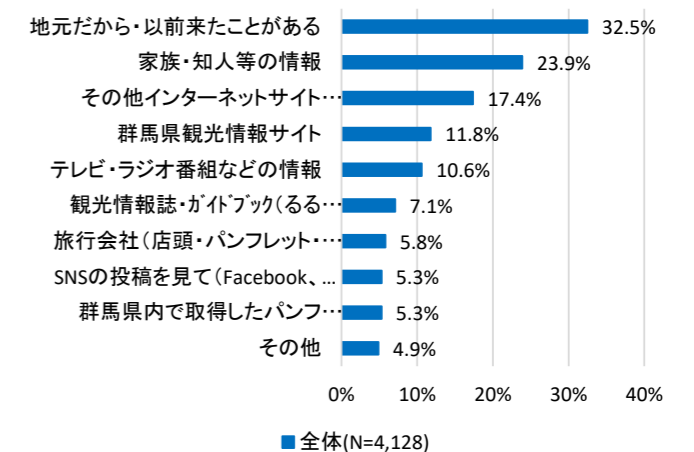
- 性年代は、男女とも30歳代が最も多い。
- 居住地は、群馬県が最も多く、隣接する都県からの来訪者が多い。海外からは、10位で1.5%である。
- 宿泊は、県内が13.7%、県外が58.8%、海外居住者が95.2%である。

■観光の主な目的(複数回答)



- 温泉が31.6%で最も多い

■観光地選択の際の情報源(複数回答)



- 地元だから・以前来たことがあるが32.5%で最も多い